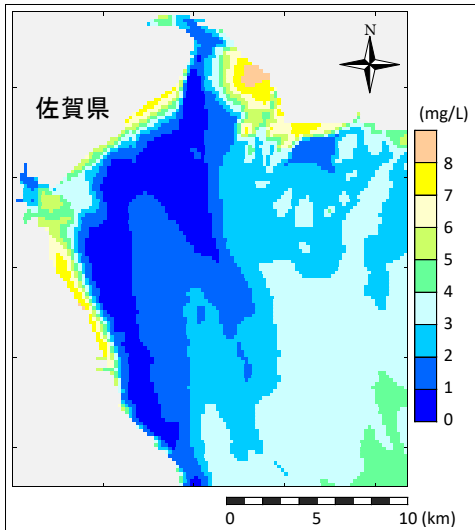
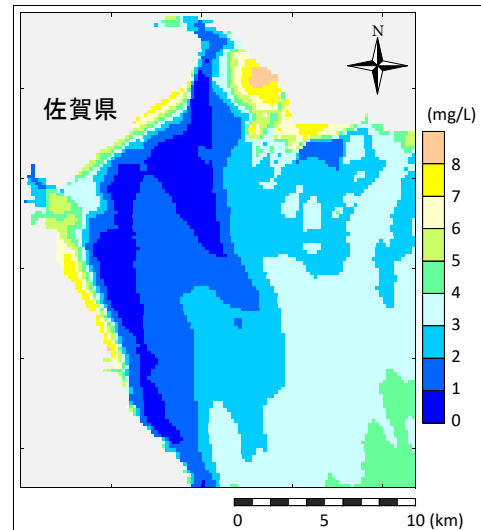


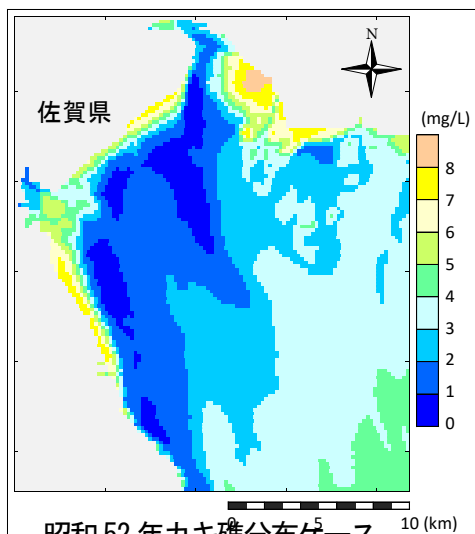
カキ礁分布域では、水中の植物プランクトンや懸濁態有機物が摂餌されるため、底層水中の有機物の分解による酸素消費が減少する。さらに、海底に沈降堆積する有機物も減少する事から、底泥での有機物分解による酸素消費も軽減されることになり、底層 DO 濃度の上昇が見られる結果が得られた。



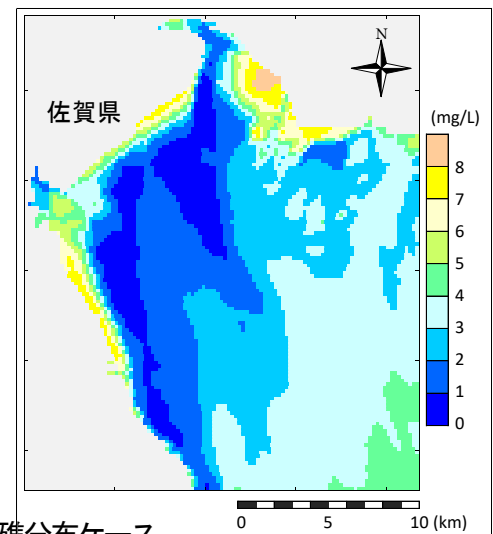
カキ礁無しケース



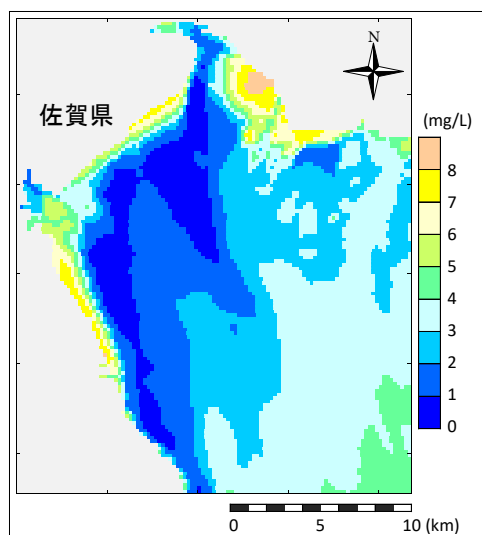
平成 19 年カキ礁分布ケース



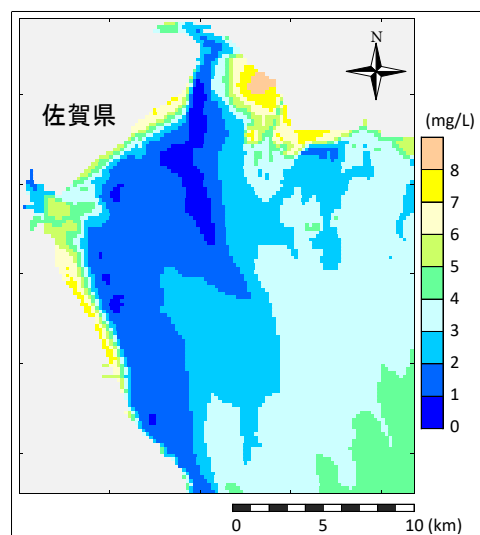
昭和 52 年カキ礁分布ケース



昭和 53 年カキ礁分布ケース



カキ礁造成可能域その1 ケース



カキ礁造成可能域その2 ケース

図 35 底層 D0 の水平分布比較